

第 2 章 豊田市の PCB 廃棄物の保管・使用状況

2.1 豊田市の概要

豊田市は、愛知県のほぼ中央に位置しており、面積は 290.12km² で、人口は 348,671 人（2000.4.1 現在）である。

豊田市及びその周辺の町村（三好町、藤岡町、小原村、足助町、下山村、旭町）で構成される豊田加茂広域市町村圏では、事務処理組合により一般廃棄物（し尿、ごみ）の共同処理が行なわれている。また、豊田加茂広域市町村圏の産業廃棄物については、（財）豊田加茂公社が埋め立て処分事業を行っている。

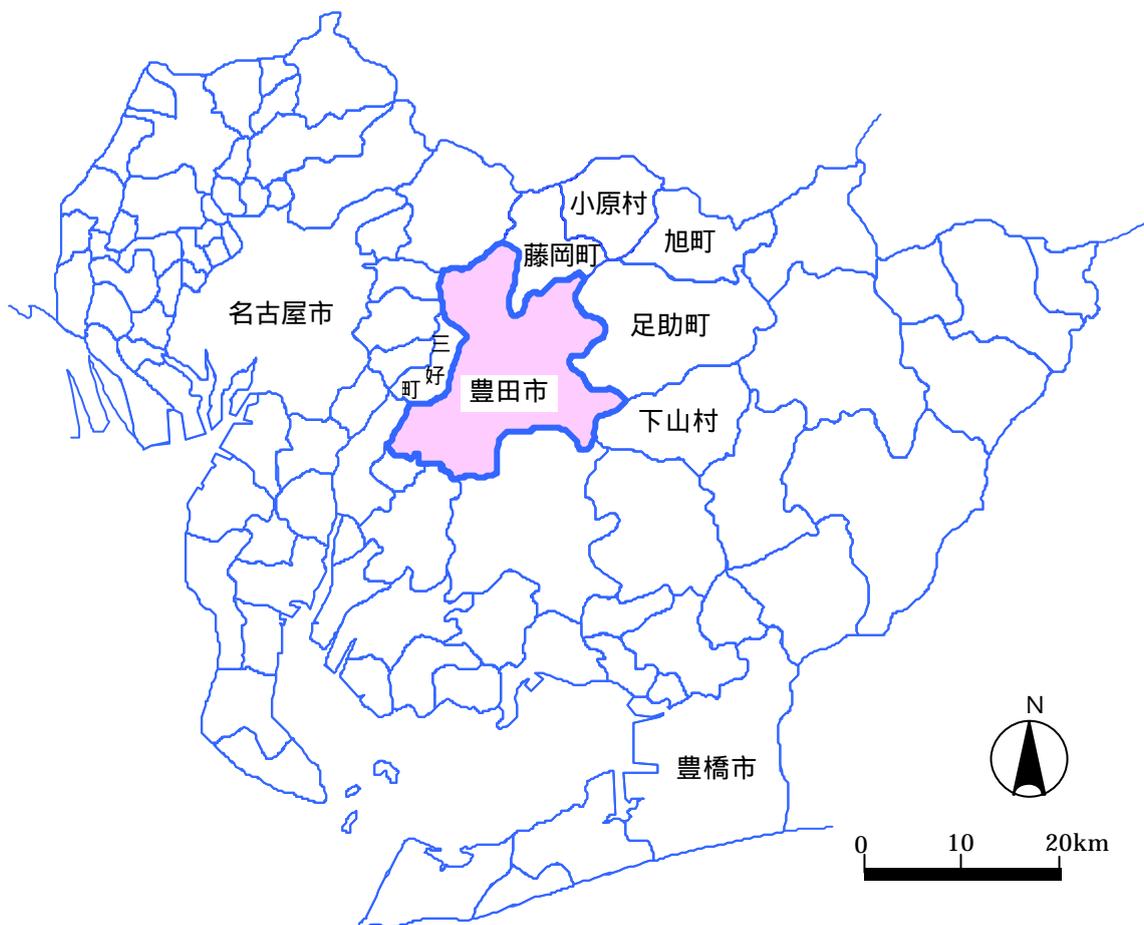


図 2 - 1 豊田市の位置

2.2 豊田市におけるPCB廃棄物の保管・使用状況

1998年度時点で豊田市では、高圧トランスや高圧コンデンサーが約120事業所で3,000台強が保管されており、また、約50事業所で3,300台強が使用されている。

ちなみに、愛知県では、高圧トランスや高圧コンデンサーが約3,000事業所で2万台弱が保管されており、また、約1,300事業所で4,800台強が使用されているので、豊田市内には、愛知県内の約26%、全国の約2%の高圧トランスや高圧コンデンサーが保管・使用されている。(全国における1998年度の保管・使用状況は第1章の表1-3を参照)

表2-1 豊田市における1998年度の保管・使用状況

種 類		高圧トランス	高圧コンデンサー	低圧トランス	低圧コンデンサー	廃感圧紙	廃PCB	安定器	ウエス、汚泥等	柱上トランス	
平成10年度	保管	事業所	2	124	0	0	0	1	2	1	0
		数量	2台	3,043台	0台	0台	0t	2l	9,686台	21m ³	0台
	使用中	事業所	0	48	0	0	0	0	-	0	0
		数量	0台	3,304台	0台	0台	0t	0	-	0	0台

出典：豊田市調査結果

表2-2 愛知県における1998年度の保管・使用状況

種 類		高圧トランス・コンデンサー	
平成10年度	保管 *未報告含む	事業所	3,087
		数量	19,257台
	使用中	事業所	1,252
		数量	4,811台

出典：厚生省生活環境審議会資料(2000年7月17日)

また、2000年9月から11月にかけて、小学校の照明用安定器が破損し、絶縁油として使用されていたPCB汚染油が児童に降りかかるという事故が千葉県柏市、東京都八王子市、岐阜市、愛知県蒲郡市で続発し、使用中のPCB使用機器の安全対策が問題となったため、豊田市は、PCB絶縁油含有の照明用安定器を使用した蛍光灯を小・中学校を含む市内の公共施設から取り外し、PCB廃棄物として保管することを2001年2月に表明している。